

今後の会の取組みについて話し合いを進めています

会では、昨年の3月に区へ提案したまちづくりのルールが、どのようにして地区計画になり、またルールに基づくまちづくりがどのように進められていくのかを見守りながら、自立した会として今後も活動を続けていくこととしました。

会の活動を継続的に進められるよう、会員による活動だけでなく、地域の皆さんとも防災まちづくりを進められるような仕組みづくりについて話し合っています。



防災街区整備地区計画策定までのスケジュール

昨年の3月に区へ提出したルールの提案に基づき、区では地区計画として検討を進めています。来年度、都市計画として決定される予定です。

平成22年度	地区計画素案に対する意向調査の実施・結果報告
平成23年度	地区計画原案の作成
5月~6月予定	地区計画原案に関する都市計画手続き（説明会の開催等）
8月~9月予定	地区計画案に関する都市計画手続き（説明会の開催等）
10月予定	地区計画の都市計画決定
12月予定	建築条例の決定
平成24年度~	地区計画に基づくまちづくりが進められます

編集後記

「災害は忘れた頃にやってくる」地震、津波、台風、洪水など、自然災害にまったくない！少しでも災害被害が軽減するよう、皆でこれからも力を合わせて普段からの備えを！

災害に強いまちの実現に向けた新たな一步を目指し、区がまちづくりの会の提案を基に都市計画として定める手続きを進めています。平成23年度には地区計画として決定される予定ですので、これから多くの人々に関心を持っていただけるよう活動してまいります。

（運営委員 川島義人）

“防災まちづくりの会”はどなたでも気軽に参加できる会です！まちづくりの会の活動と一緒に参加してくださる方は事務局までご連絡ください

【事務局】 大田区 まちづくり推進部 都市開発課
電話：5744-1338



大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース No24

平成23年3月



発行・編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会 「さんかく隊」
事務局：大田区 まちづくり推進部 都市開発課 TEL.5744-1338

全国防災まちづくりフォーラムで発表しました！

去る1月30日に有明の丘基幹的広域防災拠点施設において、内閣府主催による「防災まちづくりフォーラム」が開催されました。

防災まちづくりの会は、活動発表会へ参加し、会のこれまでの取組みについて発表しました。

防災まちづくりの会のほかに7つの団体が参加しそれぞれの活動について発表しました。
(詳細は2、3ページに紹介)



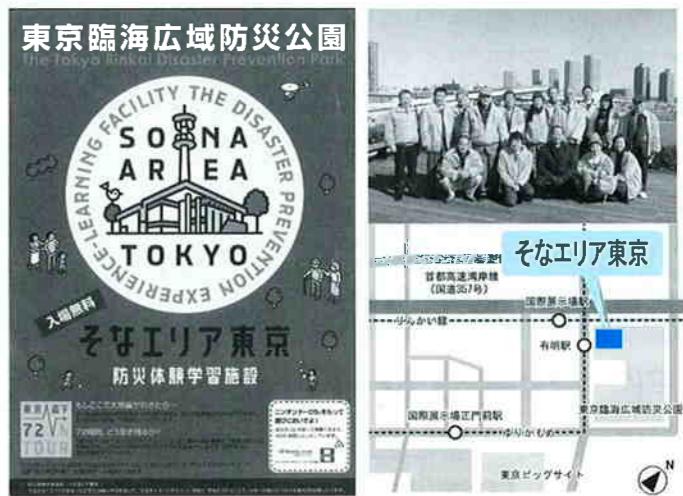
会場となった『オペレーションルーム』は、災害発生時に現地対策本部となる場所で、普段は入ることができません。

防災体験学習施設へ行ってきました！

『そなエリア東京』は、有明の丘基幹的広域防災拠点施設に併設された防災体験学習施設です。地震発生後の72時間どう過ごすか、地震の発生から避難までをゲーム機を使いながら体験する内容になっています。

災害が発生したら、まちはどうなってしまうのか、自分たちに何ができるのかについて学ぶことができました。

皆さんも体験されてはいかがでしょうか？(入場料は無料です)



りんかい線：「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ：「有明駅」より徒歩約2分

ごあいさつ

副会長 濱田勝廣／運営委員 女ヶ澤幸子

わたしたち『さんかく隊』は、全国防災まちづくりフォーラム（内閣府主催）に発表団体として選ばれ、これまでの活動内容を『さんかく隊』のみなさんと発表しました。

『さんかく隊』は、“自分たちのまちは自分たちの手で”、“子や孫に引き継ぐまちづくり”を理念として、防災まちづくりフェア、勉強会、街角アンケート、ニュースの発行など様々な活動を行い、他団体との意見交換も行ってきました。約197ヘクタールの広い地域で、11年間活動を続けていくことについて、評価を得ました。

これからも『さんかく隊』は、活動を続けています。私たちの活動に関心をお持ちの方、一緒に活動をしましょう。どうぞご参加ください。

引き続き地域の方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国防災まちづくりフォーラムで発表しました！！

第1部 活動発表会

第6回全国防災まちづくりフォーラムに参加し、これまでの会の活動内容等を発表しました。1団体あたり限られた時間でしたが、会の熱い思いが全国から集まった150人の皆さんに伝わったと思います！



防災まちづくりの会（さんかく隊）の発表内容

防災まちづくりの会がこれまで11年間に取組んできた内容について、実際の写真を交えながら説明しました。

まち歩きで発見した電柱の移設、大田区体育館近くの道路拡幅への働きかけと実現、公園の拡張に伴い防災機能の追加の働きかけと実現、まちづくりのルールを区へ提案したこと、今後も自分たちでまちづくりを進めていくことについて発表しました。

他団体からは続けていくための秘訣について質問されました。



第2部 トークセッション（発表団体による意見交換会）

発表団体が一堂に会し、自分たちがこれまで苦労してきたことや今後の取組みなどについて発表しました。

その後、専門家の先生から、長い期間活動を続けるには、組織がしっかりとすることが重要であり、さんかく隊は、活動の基盤ができておらず、今後につながる取り組みに期待すると、活動に関する評価をいただきました。

また、今後も続けていくためには、みんなが楽しみながら続けられるようにすることが必要であるとお話をいただきました。



フォーラムで発表された他団体の皆さん

防災まちづくりの会とまた違った視点・取り組みの内容で活動を続けている皆さんです。今後の会の取組み内容の参考にしたいと思います。

◆ 泉三丁目地区連合自治防災会（国分寺市）

「災害に負けない市民、安全で住みよいまちを築く」、「防災以外で、防犯、環境など地域要望をくみあげ地域の期待に添える」を活動の柱として、地域と行政が協力しながら27年間活動しています。

◆ 墨田区耐震補強推進協議会（墨田区）

都建築士事務所協会墨田支部、墨田区内の建設業協会や32の町会・自治会等で構成される「墨田区耐震補強推進協議会」を設立し、来るべき大地震に備えて地域ぐるみで耐震補強の取組みを進めています。

◆ 東京災害ボランティアネットワーク（中野区）

首都圏直下型地震が発生した場合 650万人を超える人が帰宅困難者となるといわれています。帰宅困難者への対応として首都圏統一帰宅困難者対応訓練を行っています。

◆ 特定非営利活動法人ア！安全・快適街づくり（葛飾区）

海拔ゼロメートル地帯に広がる市街地（広域ゼロメートル市街地）で大規模水害に立ち向かいつつ、安全・快適な街を目指して、地域の住民や小中学校、NPO、企業、行政といった多様な連携のもと活動を進めています。

◆ ネオシティ大和高田自主防災組織（奈良県大和高田市）

約2000人が暮らす集合マンション「ネオシティ大和高田」において、マンションの自治会や管理組合が中心となって結成された自主防災組織です。マンション居住者に対する防災意識の向上を目指して防災訓練、防災マップの作成などを実施しています。

◆ 練馬区<防災・安全>教育推進協議会 心のあかりを灯す会（練馬区）

自治体と協働体制のもと、自然災害の恐ろしさや防災の大切さ等について、人形劇等を通じて子供たちに伝え、命の大切さや人や思いやりを学べるお手伝いを行っています。



◆ 特定非営利活動法人はままつ子育てネットワークぴっぴ（静岡県浜松市）

自分の身は自分で守ることを基本に考え、親・子どもへの防災意識の啓発と子どもを見守るネットワークづくりを確かなものにする地域コミュニティの活性化を目指し、様々な団体とともに活動を進めています。